

毎年4月2日は世界自閉症啓発デーです(4月2日~4月8日は発達障害啓発週間)

2007年12月の国連総会において、全世界の人々に自閉症を理解してもらう取り組みを進めるため、毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」とすることが決議されました。日本でも、毎年、世界自閉症啓発デーの4月2日から8日までの1週間を「発達障害啓発週間」として、自閉症をはじめとする発達障害について広く啓発する活動が行われています。

発達障害って、なんだろう？

発達障害は、広汎性発達障害(こうはんせいはいったつしょうがい)、学習障害、注意欠陥多動性障害など、脳機能の発達が関係する障害です。発達障がいのある人は他人との関係づくりやコミュニケーションなどがとても苦手ですが、優れた能力が発揮されている場合もあり、周りから見てアンバランスな様子が理解されにくく、また、その行動や態度は「自分勝手」「変わった人」「困った人」と誤解され、敬遠されることも少なくありません。その原因が親のしつけや教育の問題ではなく、脳機能の発達の関係するものだと周囲の人が理解すれば、接し方も変わってくるのではないのでしょうか。発達障がいの人たちが個々の能力を伸ばし、社会の中で自立していくためには、子どものうちからの「気づき」と「適切なサポート」、そして、発達障害に対する私たち一人ひとりの理解が必要です。

発達障がいのある方に接する時の配慮は？

障害の種類や程度、年齢や性格によっても、特性の現れ方は違い、生活の中で困難なこと、苦手なことも違います。そのため、一人一人の特徴に応じて配慮したり、支援したりしていくことが重要です。ここでは配慮していただきたい基本的なポイントをいくつかご紹介します。

- ◆ほかの人が簡単にできることもうまくできないことがあります。努力している点やうまくいっている点をほめたうえで、できなかったところはどのようにすればもっとよくなるかを肯定的、具体的に伝えます。
- ◆言葉だけでなく、目でみてわかる情報(写真や絵)を添えて説明すると理解しやすいと言われています。また、あいまいな表現を理解するのが苦手なので、短い文で一つずつ順を追って、具体的に話をします。
- ◆人混みや大きな音、光などの刺激を苦手とする方が多くいます。不快感を大きくしないよう安心できる環境をつくってあげましょう。
- ◆暗黙の了解や社会のルールがわからないことがあります。いけないことや迷惑なことははっきりと伝えます。ただ注意したり、叱るだけではどうしたらよいかわからないので、具体的な方法を伝えます。

子どもが騒いだり、パニックを起こしたりしているとき、「なぜ親は叱らないんだ」と思う方もいらっしゃると思います。しかし、発達障がいのある子の中には、少し時間をおき待ってあげることで、早く混乱から抜け出せることもあります。周囲の方にこうした知識があるだけで、本人も家族も少し楽になれます。皆さんも、これを読んでいただいたことをきっかけに、自閉症をはじめとする発達障害についての理解・知識を深めてみませんか？

参考：内閣府大臣官房政府広報室 政府広報オンライン「発達障害って、なんだろう」

「おひさま親の会」について

鶴居村では、障がいのあるお子さんや発達等が“気になる”お子さんを抱える保護者の方たちが集い、互いに支え合いながら、成長し合う場として「おひさま親の会」を定期的で開催しています。子育てをしている中での「困り感」や「悩み」など、日ごろ抱えている思いを一緒にお話できる場です。

令和4年度の開催日程については、今後広報やIP告知端末でお知らせする予定です。初めてご参加される方は一度役場の保健師までご連絡ください。

鶴居村役場保健福祉課 保健師 0154-64-2116

